

10月10日 新型コロナ園内感染の収束までの経緯

2022年10月13日 報告

※感染された方の特定に繋がらぬよう、一部曖昧な記述や表現があります。

9月11日、ルーム勤務していた職員から帰宅後に体に違和感があると管理職へ報告がある。
翌12日朝、看護師により抗原検査を行うと陽性反応が出る。
12日、緊急会議を行う。廊下にパーティションで簡易の仕切りを設置するなど、各居室棟を可能な限り区分けする。
感染職員が勤務していたルーム利用者の抗原検査を行うと13日2名、14日1名陽性反応が出る。
14日、呉竹棟を感染者の療養場所とする為、居室移動を行う。
15日、感染ルーム利用者と同室の利用者が感染。さらに別ルームの職員も感染が判明し、この後、区分けした別の居室棟へも感染が広がっていく。
17日、京都府感染対策サポートチームに来園してもらい、現状と今後の対策について相談。支援の簡略化や回数を減らすなど、可能な限り少数の職員で維持出来る体制を作るように指導を受ける。感染が別ルームへ広がった為、感染者対応の居室棟を増やす。
17日から管理職、専門職も感染していき、交代要員の配置や全体把握が難しくなる。
その後も感染拡大を止められず、9月26日までに利用者41名、職員6名が感染。

初動の遅れ、職員配置の最適化、必要な物資の想定が不足していたなど反省する点多々あり、最終的に全利用者42名中、41名が感染する事態となってしまいました。
幸い、感染された方で重症化する人はおらず、ほとんどの方が平熱より少し高い程度の発熱で済みました。38℃以上の高熱が続く方も2名おられましたが、大事には至らず、発症してから4日ほどで回復されています。
感染された方は医師に電話診断を受け、高齢の方や持病のある方の場合には重症化予防薬の処方をしてもらうなどの対応を行いました。

最後に感染された利用者の待機期間が10月10日に終わり、同日に園内の感染収束が宣言されました。

現在、10月17日を目途に通常運営へ戻す事を目指し、棟内の清掃消毒、居室移動などを行っています。